

会 議 録

会議の名称	平成29年度 第3回 行田市水道事業運営審議会
開催日時	平成30年3月14日(水) 開会；午後1時30分 ・ 閉会；午後3時30分
開催場所	行田市水道庁舎 2階 第2会議室
出席委員氏名	吉田豊彦会長 岡野充甫副会長 大久保忠委員 新井教弘委員 吉田哲委員 栗原芳江委員 島田洋子委員 計7名
欠席委員氏名	久保田満委員 相原雅洋委員 田熊誠委員
事務局	藤原都市整備部長 長谷見水道課長 岡戸副参事 根岸主幹 金子主幹 渡辺主査 河村主査 吉岡主事 栗原技師
会議内容	(1) 行田市水道事業ビジョン(案)について(諮問) (2) 行田市水道事業経営戦略(案)について(意見聴取)
会議資料	(資料名・概要等) ① 次第 ② 行田市水道事業ビジョン(案)について(諮問)写 ③ 行田市水道事業ビジョン(案) ④ 行田市水道事業経営戦略(案)
その他必要事項	傍聴者なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料確認 ・ 委員出席状況報告 <p>2 あいさつ</p> <p>吉田豊彦会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>【審議】</p>
吉田議長	<p>議第1号 行田市水道事業ビジョン（案）について（諮問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成30年2月21日付け行水第1510号にて、市長より「行田市水道事業ビジョン（案）」について諮問があった。議第1号について事務局に説明を求める。
事務局	<p>・・・配布資料を用いて担当が説明・・・</p>
吉田議長 大久保委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等はあるか。 ・ 市長から諮問がきているが、市長への答申はいつ頃になるのか。 ・ 審議会でご審議・決定していただき、会長から市長へ年度内に答申、4月1日から水道事業ビジョンとしてスタートして行きたいと考えている。
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の審議会の皆様にご理解、ご賛同いただき、答申をしていきたいと考えている。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンには水道料金の値上げ、広域化、県水の比率とあるが、1年で方向性を決めてよいのか。水道料金の値上げのことなど市民の暮らしに関わることは、もっと時間をかけるべきではないのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の水道事業ビジョンと経営戦略は料金改定をこれで実施するということではなく、料金改定や広域化について今後、検討する必要があるという位置付けである。当然ながら料金改定について

<p>大久保委員 事務局</p>	<p>は生活に直結する部分であるため、ある程度の期間をとって丁寧にやっていきたいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの検討期間を延ばす考えはないのか。 ・ビジョンについては、検討する必要があることを位置付けたものであって、これで料金改定をするというものではない。「検討する必要がある」と記載しなければ検討もできないものなので、検討については今後やっていきたいと考えている。現状を踏まえてそういう必要性があるということをご理解いただきたい。
<p>吉田議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・料金の改定については経営戦略の中で期間をとって議論していただき、市民に説明していただきたい。
<p>岡野副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おいしい水とは何だろう」といつも考えているが、ビジョンの45ページに豆知識に「おいしい水」について掲載されており、これは非常によいと思う。また、39ページの目標値の設定で、残留塩素濃度が0.3mg/Lとしているが、この数値ならおいしい水ではないかと思う。皆に安心、安全、安定、おいしいそして清潔という面でもう一度水道水を見直してほしい。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンに対して意見を述べさせていただくが、検討していくということはそれに向けて進んで行くということ。ビジョンに賛成してしまうと値上げの問題や広域化の問題について、審議会が了解し、このまま進めてくださいと市長に答申することになる。しかしビジョンにはたくさん問題点があると思う。例えば20ページの自己水・県水の問題、29ページの財政状況で料金改定や広域化、44ページは具体的に目標があり水道料金の適正化、広域化の推進とある。料金の適正化とは値上げが前提であり市民の負担が増える。財政状況をみても、内部留保資金が11億円あり、経常収支も黒字である。料金値上げをする必要はないのではないか。もっと規模を縮小したり、一般会計からの繰り入れという方法もあるのではないか。 <p>また、32ページのスケールメリットを活かした広域化とある</p>

<p>大久保委員</p>	<p>が、行田市は行田市でやった方がよい。本ビジョンについては賛成できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 32ページにある埼玉県 of 広域化検討ブロック会議は実施しているのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化についてビジョンに載せているが、広域化はスケールメリットを活かすと考えている。しかし、広域化は目的ではなくひとつの手段として検討している。最終的な手段で広域化もあるという位置付けである。まずは自助努力、施設規模の見直しや支出を抑える努力をすることが重要である。「埼玉県 of 水道整備基本構想（平成23年改定）」では、最終的に県営水道水供給事業と県内水道事業の一本化を半世紀後に目指している。この中で県内10ブロックに分けて実施検討部会で検討を始めたところである。水道法の改正案の中でも広域化を推進するよう位置付けている。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化の検討部会に参加しているのか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加している。検討部会は埼玉県生活衛生課及び企業局の職員がアドバイザーとして参加する組織であるが、具体的に何をするとという議論まで達していない。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの中に広域化に向かっていくと書かれている。私個人としては、このビジョンは賛成できない。審議会内で反対の意見があったということを明確にしていきたい。
<p>吉田議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化については県も計画していくという形で載せている。市も計画期間10年のビジョンには載せなければならないということで記載していると思う。このことについては今後、話しが進んで行けば、審議会等で議論していく必要がある。ご理解いただきたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域化や料金改定、県水の関係についても、今後検討してみないと分からないというところで、検討に取り組みますと記載している。しかし、今、持っているデータを基に事業を進めて行くと、経営が立ち行かなくなってしまう。そうならないように予め支出

<p>岡野副会長</p>	<p>を抑える、効率的な運営に努める中で検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 32 ページの広域化については、現状と課題について客観的に述べているということによいか。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 38 ページに理想像の実現のための施策を示しているが、(1) 経営基盤の強化の中で①健全経営の確保から⑤期限内納付の推進については自分達で努力するもの。その結果、⑥水道料金の適正化について議論をしなくてはならない。合わせて将来的に経営が成り立たなくなる可能性の中で⑧の広域化についても予め検討していくという位置付けとなっている。
<p>吉田議長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年から5年で見直していくのか。 ・ 50 ページに社会情勢の変化等に対応するためPDCAを実施するとしている。また業務指標についても、毎年度分析・評価していく。
<p>大久保委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ このビジョンは今後10年間の水道の計画で大切なものである。市民負担や広域化、県水の問題等が盛り込まれているので、じっくり考えて答申しないと、市民の生活は大変なことになってしまうという思いがある。本ビジョンについては反対である。
<p>吉田議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申書の中に見直しを行いながら進めてくださいとの文言を入れる。 ・ 他に意見等はないか。
<p>吉田議長</p>	<p>【採決】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、「議第1号 行田市水道事業ビジョン(案)」について、採決に移らせていただく。 ・ 原案のとおり承認することに賛成の方は、挙手をお願いします。 <p>・・・挙手による採決(委員6名挙手)・・・</p>
<p>吉田議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それでは、「議第1号 行田市水道事業ビジョン(案)」については、挙手多数により、原案のとおり可決とする。

吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 答申については、後日私から市長へ提出させていただく。 ・ 次に議事の2番目「行田市水道事業経営戦略（案）」について、事務局より第1章から第3章までと、第4章から第6章までの2部に分けて説明をお願いします。
事務局	<p>・・・事務局より資料を用いて説明・・・</p>
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただ今事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等はあるか。 ・ 9ページの供給単価の改定だが、2ページの料金表のどの部分が値上げとなるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給水収益全体に改定率をかけて改定後の給水単価を算出しているため、どの部分を値上げするというものではない。
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ それではどこの数字を基本としているのか
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9ページの供給単価の言葉の定義だが、給水収益を有収水量で割った単価である。1 m³の水を配ると水道事業に143.6円の水道料金として収入されるということである。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道事業は難しい。例えば12%値上げしたら、家庭用はいくらになり業務用はいくらになるのかイメージがわからない。経営戦略も水道料金を上げないと大変だよといっているように見える。もっと時間をかけて進めた方がよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっと時間をかけて経営戦略を策定すべきとのご意見については、今の状況では経営戦略は策定しなければならないものである。今後の事業を運営して行く中で財政計画と投資計画という経営の目安となるものが必要であり、目指すべき戦略はできるだけ早く定める必要がある。経営戦略策定は料金改定が前提ではない。料金改定については別途色々な要素を含めて検討していく。今の状況で財政シミュレーションを実施した結果、水道事業として今後どのようにしていくのか、個別・具体的なものを検討していきたい。

大久保委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略と審議会は何の関係があるのか。 ・ 審議会から経営戦略についてご意見をいただくという事で、いただいた意見により変えていくところは変えていくということである。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見をいただくと言うことが、分からない。分からないものを見せられて、意見をくださいと言うのもおかしい。審議会から意見を伺いましたということで、審議会を使われても非常に迷惑であるし、大変なことになってしまうのではないか。委員が内容をよく分かった上で審議すべきではないか。
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9ページの給水単価は平成29年度決算見込みの数字を使ったとのことだが、具体的にどこの数字か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 32ページの1、(1)料金収入の算出根拠は、先ほどの供給単価143.6円に8ページの年間有収水量をかけて算出している。分かりにくいので、その部分については説明を加えさせていただきたい。
吉田哲委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジョンの説明の際には、具体的に経営戦略で説明するのでその際に議論してほしいとのことだった。ビジョンは10年の水道事業のあるべき姿を現すものなので採決では賛成した。経営戦略は単年度なら分かりやすいが、10年先の展開は難しく分かりにくい。ビジョンを踏まえて、人口減少、収入の減少、施設の老朽化、余剰の設備を順次減らしていくなど複合的に支出を減らし、料金を改正するという設定になっていると思うが、それを今分かるように説明するというのは難しいと思う。そこで委員としてどの程度まで答えればよいのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず3章までの復習ということで、料金を上げないと仮定して9、10ページをご覧いただきたい。職員がアセットマネジメントを実施し40年先までのシミュレーションを行ったが、今後人口が減少し、それに伴い給水収益も減少していく。給水収益は10年後には約12億円を下回る結果である。10ページの上の図では

<p>栗原委員 事務局</p>	<p>2021年に赤字となり厳しい状況が伺える。18ページからの財政計画は、目標を設定してシュミレーションしている。現在、今後の目指すべき方向性がないので、経営戦略を早く策定したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9ページに水道料金の値上げとあるが、他に方法はないのか。 ・経営基盤を強化するためには、費用を下げるか収益を上げるかである。費用下げるには、電気ではインバーター機能付きのポンプ等の導入や、民間委託をする等に取り組むことが必要であるが、それでも難しい場合、次に料金改定となる。施設の更新については休止も視野に入れシミュレーションしている。 ・今後、支出を抑えることについても検討していく。
<p>吉田議長 事務局</p>	<p>次に第4章から第6章までの説明をお願いします。</p> <p>・・・事務局より資料を用いて説明・・・</p>
<p>吉田議長 岡野副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今事務局から説明があったが、ご意見、ご質問等はあるか。 ・32ページの財政計画は料金改正なしで、起債率も今のままでということで作った表なのか。 ・32ページの別紙1の表は料金を改正した場合で作成している。別紙2についても同様である。
<p>岡野副会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表の整合性についてだが、23ページの当年度純利益の数字は別紙1の当期純利益と同じか。また、資金残高はこの別紙1の表に記載されているか。また内部留保資金は出てくるのか。 ・別紙1に資金残高は記載されていない。また、当期純利益について、この表は料金改正後の数値であるため、23ページの表とは整合していない。別紙1に対応するものは25ページ中段からの料金改定を行い、起債率を55%にした場合のシミュレーションである。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 別紙 1 には資金残高は記載されていないが、資金残高は 27 ページの上から 3 段目に年度ごとに記載している。
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> 別紙 1 との整合はどれととれるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 25 ページの中段から 27 ページまでが、別紙 1、別紙 2 に付随する説明資料である。目標水準を達成できるように料金改定を行い、起債率を 55% として試算した場合である。 今回のシミュレーションは 2 つのパターンを記載しているが、例えば 13 ページの表では、料金改定をしなかった場合は財源が無く更新事業ができずに、管路の健全度は将来的には老朽化資産ばかりになってしまう。14 ページの表では、今回の試算のように料金を改定した場合、更新事業を確保することができ、一部老朽化管路は残るものの、実使用年数の中で管路の健全度を保ちながら、経営のほうも安定してできるという試算結果になる。料金を見直すことによって健全度も保てることを示している。
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンがあって経営戦略があるとの説明だが、29 ページに施設の合理化や投資についての検討、広域化をやった上での料金改定との説明だった。要は料金改定をしないと施設の維持などできないと資料に書いてある。料金改定をしないとやっていけないし、水道がなくなることはありえない。料金で事業を運営することは大きなウェイトだが、老朽施設の改修の問題、補助金の問題、また起債の問題、一般会計からの繰入れなど問題はたくさんある。27 ページの表に資金残高が記載されているが、ここに記載されない内部留保資金もある。そういったものを最初に使って事業を実施すべきであり、ビジョンを見ても施設を縮小するなど努力をしていただき、料金改定はやめた方がよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 今回シミュレーションをするにあたり内部留保資金を含めて試算をした。さらに 18 ページから記載しているように現在ある施設を全て更新した場合は費用が莫大になるため、更新する施設を絞っている。例えば井戸であるが、将来推計の配水量を確保した上

	<p>で12本ある井戸を6本に集約し余剰分は更新しない、また西部配水場が新しいことや、さらに事業統合により南河原浄水場を含め運用が可能となることなどを考えながら施設利用率の低い東部配水場は更新しない等、今回試算している。色々な費用を下げる取り組みを検討し、さらに管路や施設の健全度を保ちながら、皆様にいつでもおいしい水をお配りしたいということで試算している。その点ご理解いただきたい。安心安全な水を配るためには10年間で必要な更新費用は約87億円と試算している。</p>
岡野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・料金改定しないで施設更新した場合と料金改定した場合の別紙1の投資・財政計画の表があれば対比しやすいのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・24ページの表と突合する別紙1の表を掲載するかどうか検討する。
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・32ページの年度の書き方を統一してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・訂正させていただく。
吉田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に質疑があるか。 ・なければ議長の職を解かせていただく。
事務局	<p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日ご審議いただいた「行田市水道事業ビジョン」および「行田市水道事業経営戦略」については、後日製本したものをお配りする予定である。
岡野副会長	<p>5 閉会</p> <p>岡野副会長</p>